

中京大学大学院
人文社会科学研究所
法・政治学専攻

日時・場所

2025 **10/17** 金
16:40～18:10
名古屋キャンパス
9号館922教室

学術講演会のご案内

—ソマリア国連平和活動の移行：紛争の特徴と世界的動向との交錯—

30年間以上にわたる紛争解決努力が実らないまま国際社会の関与が減退するソマリア。ソマリアをめぐる内外情勢にはタリバン復権前のアフガニスタンと酷似する点が多く、国際社会による国内紛争介入のあり方について、両ケースに普遍的な問題もみられます。さらに、米国一極集中から多極化、または「新冷戦」に向かう国際政治情勢、それにともなう国連安保理議決の停滞、国連への資金減少などが追い打ちをかける現状では、ソマリア支援のみならず、国連による平和活動そのものの前途に暗雲がかかっています。

本講演では、ソマリアでご活躍の国連職員の方に、紛争そのものの特徴と、世界的動向が交錯することにより、国連の紛争介入がどのように変化してきたかをご説明いただいた上で、ソマリアを含む国連平和活動全般の今後の見通しをご展望いただきます。

国際紛争、国連、あるいは、国際協力や国際公務員の仕事に関心のある院生・学生や大学関係の皆様など、多くの方々のご参加をお待ちしております。

●日時 2025年10月17日（金） 16:40～18:10 *16:30 開場

●場所 中京大学名古屋キャンパス 9号館2階 922教室

名古屋市昭和区八事本町 42-1 名古屋市営地下鉄名城線「八事日赤」駅1番出口より徒歩約5分

●参加申込み 不要（参加費無料）

講師紹介

別段智信氏 国連ソマリア移行支援ミッション・ミッション計画官

鹿児島大学卒業後、大阪大学大学院で修士号を取得され、編集記者を4年間勤められた後、米国の大学院でご経験をお持ちです。その後は、NGO勤務を経て、現在は、国連ソマリア移行支援ミッション（United Nations Transitional Assistance Mission in Somalia: UNTMIS）でミッション計画官（Mission Planning Officer）としてご活躍されています。なお、ソマリア以外に、アフガニスタン、パキスタン、レバノンなどでの勤務経験もご持ちです。